

## 学校経営推進費 評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

<b>学校名</b>	大阪府立平野支援学校
<b>取り組む課題</b>	生徒の自立を支える教育の充実
<b>評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育自己診断における学校満足度の向上</li> <li>・ 地域連携と外部への情報の発信</li> </ul>
<b>計画名</b>	質の高い教育をみんなに～音楽で育むライフキャリア～

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<p>1. 質の高い教育の提供</p> <p>(1) キャリア教育の構築と推進</p> <p>オ 音楽療法の視点と手法を導入した指導法「HIRANO SMCs」の実践、研究、普及 (SMCs = Support with Musical Conversations)</p>
<b>事業目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重度重複障がい児のキャリア教育（ライフキャリアの育成）として「音楽療法」を導入した指導法の確立</li> <li>・ 音楽療法を導入した指導による「特色ある地域支援」を確立し、地域支援の充実と拡大を図る</li> </ul>
<b>整備した 設備・物品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽療法で使用する楽器（約 50 種類）</li> <li>・ 楽器収納棚及びケース、楽器運搬用スーツケース</li> </ul>
<b>取組みの 主担・実施者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽療法士資格所有教諭及びチームティーチングで取り組む教員複数名</li> <li>・ キャリア教育プロジェクトチーム、研究・支援部、共同研究者（音楽療法士資格所有の大学教授）</li> </ul>
<b>本年度の 取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近畿音楽教育研究大会大阪大会にて、音楽療法の視点と手法を導入した授業で公開研究授業を実施</li> <li>・ 音楽療法で使用する楽曲による指導に関する動画ならびに動画教材を作成し、校内での普及を促進</li> <li>・ 地域支援整備事業として、音楽療法の視点と手法を導入した授業による「出前授業」を小学校 2 校にて実施</li> <li>・ 日本音楽療法学会 第 22 回近畿学術大会にて実践報告</li> </ul>
<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者向け学校教育自己診断「学校はホームページ等を活用して積極的に情報を発信」の肯定的回答率を 88%、「教職員は子供の障がいを正しく理解して指導」を 95%にする。</li> <li>・ 音楽療法による地域支援の継続実施、および新規実施校を昨年度より 1 校増やす。</li> </ul>
<b>自己評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校はホームページ等を活用して積極的に情報を発信」の肯定的回答率は 94.1%で目標の 88%を上回った。…………… (○)</li> <li>・ 「教職員は子供の障がいを正しく理解して指導」については 94.1%で目標の 95%を下回った。今後、教員の障がい理解を深めるよう、さらに取組みを推進する。… (△)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏季休業中の公開講座を通して「出前授業」の新規実施校の開拓に努めたが、実施には至らなかった。しかし、昨年度と同一校の同学年の児童に対して継続実施でき、取組み内容の質を深めることができた。…………… (△)</li> <li>* 出前授業を継続実施した小学校の児童から「音楽が好きになった」「こういった授業をもっとやりたい」等の感想を得たことから、本授業は地域支援にも貢献できるものであると認識できた。</li> <li>* 近畿音楽教育研究大会大阪大会の公開研究授業に向けた大阪府教育センター支援教育推進室の指導助言によって生徒の資質・能力の育成につながる授業づくりを実現することができた。また、本授業の学習指導案について、文部科学省初等中等教育局教科調査官より「個別最適で協働的な学びという点で大変良い学習指導案である。他校種もぜひ参考にしてほしい」と高く評価された。</li> </ul>
<p><b>次年度に向けて</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽教育と音楽療法の最近接領域を研究することにより、両者の良さを活かした指導の在り方を可能な限り明確化する。</li> <li>・ 音楽療法の視点と手法の定義づけを行い、音楽療法の視点と手法による指導法の確立をめざす。</li> <li>・ 校内における実践者を拡大する。</li> <li>・ 出前授業を通して、地域支援における効果及び成果を検証する。</li> <li>・ 共同研究者（大阪成蹊短期大学教授）の協力のもとで、夏季休業期間中に「成果報告会」を実施する。</li> </ul>

### 3. 事業費報告

<p><b>今年度事業費総額</b></p>	<p><b>33,240</b> 円</p>
------------------------	------------------------

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
積算内訳	1 報償費	1	共同研究者（大学教授）講師謝礼金	¥10,000	3	¥30,000
		2				
		3				
					小計	30000
	2 旅費	1	共同研究交通費（大学～本校 往復）	¥1,080	3	¥3,240
		2				
3						
				小計	3240	
				合計	¥33,240	